

# 出雲神話探訪記

「神々を迎えたまち」神西から

## 神西湖と出雲神話の深いつながり

深いつながり

# 「神々の通り道」だった!

「出雲大社だけが神話の舞台。しかも私のように人も多いかもれない。しかし私の住む神西(じんざい)にも神話の足あとが残っている。その名は 神西湖(じんざい)湖。かつては「神門水溝(かんとのみずうみ)と呼ばれ、神々(かみ)が通る大水の道だ。大」といふ。須勢理姫(すせうりひめ)の産湯の地。神西という通り道、今も残る古社の大木すまい。神西には、静かに見づく神々の通はれたまじりの記憶がある。神々を迎えた「神西は、たまたま今も語りかけてくる。私のふるさとに残る、不思議でやさしい神話の足あとを、おとどけたい。」



From Jinzai, Where Gods Once Walked

神々の旅路はここから始まる——

神々の旅路はここから始まる——

神西湖はこうして生まれた!

6000年前: 約9km(25里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

4000年前: 約5km(12.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

2000年前: 約3km(7.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

1200年前: 約2km(5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

300年前: 約1km(2.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

かつてここは「海」だった

1 神西湖と(神門)水海

今、神西湖は、約9km(25里)の長さ、約5km(12.5里)の幅、約10mの深さを持つ淡水湖である。かつては、海とつながっていた。海とつながっていた。海とつながっていた。

神様もほっと一息?

神々を迎える出雲の「神居家(かみいけ)」に由来した

「いざいざ、神々をおもてなさい!」

「いざいざ、神々をおもてなさい!」

神西湖の過去と今

約9km(25里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

約5km(12.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

約3km(7.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

約2km(5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

約1km(2.5里) 淡水(淡水湖) 湖の深さ約10m

第二章

神々の旅路はここから始まる——

神々の旅路はここから始まる——

第三章

神々はどこから来たのか

神西という名に込められた意味

神西(じんざい)という名は、神西(じんざい)という名に込められた意味

社殿の向きが

佐神社と須佐神社関係

佐神社と須佐神社関係

第五章

社殿の向きが

佐神社と須佐神社関係

佐神社と須佐神社関係

最終章

神話は今もこの地に宿る——

神話は今もこの地に宿る——

第四章

須勢理姫(すせりひめ)の伝説が息づく場所——岩坪

須勢理姫(すせりひめ)の伝説が息づく場所——岩坪

神西湖が語りかけてくるもの

神西湖が語りかけてくるもの